

令和 7 年度学校経営計画書

学 校 名 三次市立八幡小学校

校 長 名 香川 美佳

I 学校の状況

学級数	2	児童・生徒数	8	教職員数	5
メールアドレス	yawata-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.kisayawata-e.hiroshima-c.ed.jp				

II 学校教育目標

【吉舎中学校区教育目標】

自ら学び、考え、自立した行動ができる「きさ」の子どもの育成

【八幡小学校教育目標】

やさしく かしく しなやかな 児童の育成

III 使命・存在意義（ミッション）

なりたい自分の夢や目標の実現のために、八幡のひと・こと・ものとの対話を通した多様な体験活動を通して、Well-being を向上させる人材の育成に貢献する。

- 自己を認識し、自信をもち、自分らしく表現する力の育成
- 少人数の強みを生かし、自らの挑戦に向かう力の育成
- 「やわた」の特色ある教育活動の継承と発信

IV 重点事項（努力点）

【身に付けさせたい資質・能力】

主体性 コミュニケーション能力 志向性（なりたい自分へ挑む力）

- 1 一人一人の個性や可能性を伸ばす
 - 考えを伝え合う授業づくり
 - 「一人一人が主人公」となる場の設定
 - 個々の実態把握と個別最適な学びの支援（ICTを活用した学び）
- 2 保小中高でつなぐ子どもの未来 「きさで きさの子を 育てる」
 - 「きさ教育の日」における学びの発信
 - ボランティア活動への参加
 - 吉舎小学校との交流授業
 - 進路教室における未来の自分へのヒント
- 3 やわた Memorial year プロジェクトの充実
 - (1) やわたの伝統の継承・・・オペレッタ「八幡の四季」、八幡子供太鼓、やわた地域を知る遠足、一輪車演技
 - (2) ようこそ奥田元宋の母校へプロジェクト・・・奥田元宋・小由女美術館における美術鑑賞、年賀状交流
 - (3) 古典に親しむ・・・落語、百人一首、お囃子

V 中心価値・行動規範

「八幡小学校で学んでよかった、あの先生に学んでよかった」と思える教職員を目指します
 自学・・・自らの授業力・職務能力を磨く教師
 礼節・・・ホスピタリティーをもって組織的に職務を遂行し、Well-being を実現する教師
 熱意・・・子どもを信じ、認め、尊重し、夢と志をもたせる教師

VI 現状分析

学校内外環境の分析

外部環境	O (支援的要因) 【地域】 ・豊かな自然環境 ・地域社会の期待と積極的な支援（外部講師） ・放課後児童クラブがあることの有難さを感じている保護者が多い。 ・保育所・日彰館高校との連携 ・コミュニティ・スクールの仕組みを活用した活動の充実 【市教委】 ・理科支援教員配置 ・外国語指導員配置 ・ALT配置 【県教委】 ・学校間連携加配（音楽） ・特別非常勤講師（書道） ・専科指導（兼職）	S (強み) 【学校】 ・奥田元宋画伯の母校 ・小由女先生との交流 ・きめ細やかな少人数指導 ・八幡子供太鼓、オペレッタ、落語等の芸術文化の継承 ・異年齢集団による学校行事・児童会活動 ・保小中高の連携教育の充実 【児童】 ・基礎学力がほぼ定着 ・規範意識が高い。 ・生活習慣が整っている。 ・個々の活躍の場がある。 ・多様な表現力が身に付いている。 ・縦割り集団で切磋琢磨する中で、個々の力が伸びている。 ・新体力テストは、91%の児童がA・B判定である。継続した取組で、体力の向上が見られる。 ・三次市学力到達度検査において、全学年、全教科において、全国平均、市平均を上回った。 【保護者】 ・教育活動への保護者の関心度が高い。	内部環境	【資質・能力】 主【主体性】 コ【コミュニケーション能力】 志【志向性（なりたい自分へ挑む力）】 ○美術館連携・小由女先生との交流の継続 主・コ ○八幡子供太鼓 オペレッタ、落語の継承 主・コ・志 ○コンクールへの挑戦 主 ○働き方改革の推進 主・コ・志 ○情報発信 主・コ・志
	T (阻害的要因) 【地域】 ・徒歩通学の困難性。 ・少子高齢化が進み、戸数に対して児童数が少なく、点在中のため、休日や放課後の子どもの集団遊びが少ない。	W (弱み) 【学校】 ・教頭配置なし ・職員数が減少し、学校運営、危機管理体制に不安がある。 【児童】 ・多様性を受け止めたり、多様な意見を交流したり、相手のことを考えて行動したりする経験が乏しい。 ・学力到達度検査、目標値に未達成の児童がいる。 ・ノーメディアデーの取組により、メディアの活用を意識して生活する児童が増えた。 【保護者】 ・PTA会員数の減少（8）		○子どもが主体的に活動を広げ、自己有用感を高めることができる活動の推進 コ ○個別最適な学びへの支援 主 ○保護者、地域との信頼関係 主・コ・志

Ⅶ 中期経営目標及び短期経営目標

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
確かな学力	豊かな学力の定着と主体的・対話的で深い学びの実現	(1) 基礎的・基本的な知識・技能の定着	① 自主ノートを活用し、自己の学びの調整を行う。 ② 個々の実態把握と個別最適な学びにより、学び直しをさせる（ドリル朝会、個別指導、実態に合わせた課題作成、ICTの活用等）。
		(2) 表現力の育成	① 多様な体験や活動と関連付けた表現活動や各行事へ向けた取組みを通して、児童の思いを大切にしたい表現活動を充実させる。 ② 各種作品コンクールに年間で一人6本以上取り組む（習字・俳句・作文・絵画など）。
豊かな心	自己有用感の向上と規範意識の定着	(1) 自己有用感の向上	① 八幡の特色ある教育活動における成長ぶりを全校の前でしっかり評価する。（児童同士・教職員） ② やわたふるさと学習に取り組み、地域に学び、地域に返していく活動を充実させる。 ③ 行事や委員会などで一人一人が活躍する場を設定し、自己肯定感を高める取組みを充実させる。
		(2) 規範意識の醸成	① 考えを伝え合う授業づくりを行う。また、道徳と行事をタイアップさせる。 ② 「あいさつ・返事・学習の習慣」を奨励し、その成果を評価する。地域・来校者の方にも進んで気持ちの良いあいさつをさせる。
健やかな体	健康の保持増進と体力の向上	(1) 生活習慣の確立	① テレビ・ゲーム・インターネット利用について、振り返りカードを活用して自己の生活を振り返らせる。全校懇談会において、保護者への啓発を継続する。 ② 栄養教諭と連携し、本校児童の健康課題や教科等と関連付けた食育指導を実施する。
		(2) 体力の向上	① 全校体育、全校遊び、体力アップ朝会を実施し、全校で楽しみながら体力の向上を目指す。 ② 頑張り表や記録証を活用し、自己目標を設定させ、達成感を持たせる。
信頼される学校	地域・保護者から信頼され期待される学校づくり	(1) 地域とともにある学校づくり	① 学校だより、HP、保小中高だより等で子どもの様子を具体的に発信する。 ② 「伝統を引き継ぐ」視点で、保護者・自治振興会と連携し、八幡の特色ある教育活動の構成の工夫を行い、地域へ公開する。
		(2) 働き方改革の推進	① スクールカウンセラーと連携し、教職員が心身ともに働きやすい職場環境づくり、意識改革を進めるための研修を実施する。 ② 一斉退校日の完全実施を行う。